

スガタカーイ

カトリーヌ10世
Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は
人間観察とコスプレ。
好きな飲み物は
モンラッシュエ。
日本ではほとんど
知られていない、
ある小国の女王
とのウワサも!?

「クワイエット・ラグジュアリー」という言葉を頻繁に耳にするようになりました。グウイネス・バルトロウの法廷ファッションから火が付いたトレンドワードです。目立つロゴや派手なデザイン性はなく、地味だけれど、素材や品質が上質で繊細な細部に重点が置かれている「静かな」ラグジュアリーのことです。

控えめな美学を打ち出すこの手のトレンドは、「ステルス・ウエルス」とか、「ディスプレイット（慎みのある）・ラグジュアリー」といった表現でこれまでも存在してきました。まったく新しい概念というわけではありません。

ここへ来て新たな脚光を浴びているのは、持続可能性に重きが置かれるなか

04
Lifestyle男たちよ
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

クワイエット
ラグジュアリーとは
「やつし」でもある「やつし」
目覚めなさい

で、長く着られる飽きのこないものを選びたいという願望が高まっていることと無関係ではないでしょう。

とはいえ、本音のところは、主張の強いロゴが猛威をふるった最近のトレンドにうんざりした購買者が、差別化のために「クワイエット」に向かったということも大きいはず。実際、SNS上には、白、黒、ベージュ、グレーといった地味でシンプルな服のコーディネートをこれみよがしなポーズで紹介するサングラス姿の「クワイエット・ラグジュアリー」提唱者が目立ちます。クワイエット、クワイエットとやかましい。「プライバシー、プライバシー」と喧伝しながら世界キャンペーンをしていた某国の次男王子夫妻を思い出させます。

そんな矛盾に満ちたクワイエット・ラグジュアリーの快感は、もしかしたら水戸黄門の気分に近いのかもしれない。地味な平民服に身をやつしているけれど、ココソの場面で「本当はこんなにスゴいんだぞ」と知らしめて、ははっつとひれ伏させるのが快感という。というわけで、クワイエット・ラグジュアリーとは水戸黄門のやつしプレイであることに「目覚めなさい」。